

令和7年度小牧岩倉衛生組合環境センター管理委員会
第1回定例会会議録

1 開催日時 令和7年8月8日(金)午後1時30分から午後1時58分まで

2 開催場所 小牧岩倉エコルセンター 2階研修室

3 出席委員

稲垣 貴宣	委員長	落合 健一	副委員長
野々川 嘉則	委員	赤松 修二	委員
関谷 吉彦	委員	井戸田通敬	委員
山田 康治	委員	三島由美子	委員
松井 隆明	委員	西村多香子	委員
稲垣 淳郎	委員	伊藤 学	委員
河村 典久	委員(学識経験者)	渡邊 浩	委員
秋田 伸裕	委員		

欠席委員

伊藤 新治 委員

事務局

竹内 隆正	事務局長	熊崎 礎功	業務課長
永見 昭恵	総務課長	服部 和宏	業務課長補佐
稲垣 徹	業務課施設管理係長	堀田 易伯	総務課財政係長

4 議題

- (1) 令和7年上半期ごみ溶融炉運転状況について
- (2) 令和7年冬季・春季気象調査について
- (3) 調整池からの排水調査について

5 会議資料

- ・ 令和7年上半期ごみ溶融炉運転状況【資料1】
- ・ 気象調査(通年観測・特別観測)報告書【資料2】
- ・ 調整池からの排水調査報告書【資料3】
- ・ ごみ溶融炉の運転業務の一部委託について【資料4】

6 議事内容

竹内事務局長：本日は、大変お忙しい中、ご出席いただきましてありがとう

ございます。

定刻になりましたので、ただいまから令和7年度小牧岩倉衛生組合環境センター管理委員会第1回定例会を開会させていただきます。

私は、当組合事務局長の竹内と申します。よろしくお願いいたします。

本日の出席委員でございますが、14名であります。環境センター管理委員会要綱第5条の規定によりまして、会議は成立いたします。なお、本日の会議資料でございますが、次第及び資料の1から4までとなっておりますので今一度席上に配付させていただきました資料のご確認をいただければと思います。不足がございましたらお申し出いただきたいと思います。よろしかったでしょうか。

それでは、次第に従いまして、会議を進めさせていただきますので、初めに委員長からごあいさつをいただきたいと思います。（委員1名、途中出席）

稲垣委員長：あいさつ

竹内事務局長：ありがとうございました。これ以降の議事の取り回しにつきましては、委員長にお願いいたします。

稲垣委員長：それでは、議事に入ります。議題1「令和7年上半期ごみ熔融炉運転状況について」を議題とします。事務局の説明をお願いします。

熊崎業務課長：議題1、令和7年上半期の熔融炉運転状況についてご説明させていただきます。資料1をご覧ください。1ページ、令和7年上半期ごみ熔融炉運転状況について説明いたします。1号炉は、1月8日からの73日間を含み、136日間の運転を行いました。2号炉は、1月10日からの20日間を含み、94日間の運転を行いました。1号炉・2号炉並列運転日数につきましては、合計で80日間です。続きまして、2ページの運転実績になります。1月から6月までの搬入量合計は、搬入日数が152日、可燃ごみ量18,389.95トン、破碎残渣物が1,701.09トンで、搬入量合計20,091.04トン、大塊スラグは355.82トンでした。熔融処理量につきましては、1号炉の日数136日、熔融量12,457.24トン、2号炉の日数94日、熔融量8,113.73トン、合計日数230日、合計熔融量で20,570.97トンでした。また、スラグ、メタル排出量合計は2,052.99トン、ごみ汚水量合計の183.18トンは、燃焼室へ噴霧処理を行っており、ピット放水等については997.14トンです。搬入量合計を令和6年上半期と比較しますと、率

でマイナス1.51%、量で308.58トンの減少です。なお、能登半島からの災害ごみの受け入れを行っており、可燃ごみの中には、450.99トンの災害ごみを含んでおります。続きまして、3ページをご覧ください。令和7年上半期の環境センター調査概要についてになります。(1)目的、(2)測定地点につきましては変更はありません。(3)の測定機関と測定月についてですが、①排ガス濃度の手分析において、令和7年1月から3月の測定機関は、中外テクノス株式会社ですが、年度が変わり4月から6月までの測定機関は、一般財団法人岐阜県公衆衛生検査センターに代わっております。また、②排水、③騒音・振動についても、令和7年4月以降の測定機関が、同じく一般財団法人岐阜県公衆衛生検査センターに代わっております。(4)の測定項目につきましては変更ありません。なお、臭気測定につきましては、年1回の測定及び報告になりますので今回の報告はありません。続きまして、5ページの排ガス濃度測定結果(手分析)をご覧ください。1号炉は1月、2月、4月、2号炉は1月、3月、5月に測定を行い、測定結果につきましては表中に記載された通りになります。続きまして、6ページの排ガス濃度測定結果の(自動連続測定)になります。こちらにつきましても、表中に記載された通りで、協定基準値以下の値になります。次に、7ページ、場内からの雨水排水測定結果について報告します。測定日は5月2日になります。1のカドミウム及びその化合物から1,4-ジオキサンまでの28項目において協定基準値以下の値でした。続いて8ページ、騒音・振動測定結果について報告します。1、騒音測定結果について、昼間の時間帯で説明させていただきます。1月20日からの24時間の測定結果にて、測定地点①で39dB、②44dB、③47dB、④44dB、⑤49dB、⑥49dB。4月14日からの24時間の測定結果にて、測定地点①45dB、②41dB、③46dB、④44dB、⑤49dB、⑥48dB。以下、夕、夜間、朝の時間帯で測定した結果は表中に記載された通りになります。測定値は、敷地境界線上での測定で、除外できない周辺騒音を含んだ値となっております。次に、2、振動測定の結果は、昼間及び夜間の時間帯に測定を行い、1月20日からの測定と4月14日からの測定において、測定地点①から⑥の全て30dB未満であり、協定基準値以下の値でした。9ページは、各種測定箇所の位置図になります。続きまして、10ページをご覧ください。上段のグラフは、可燃ごみの搬入量の実績と前年同月比のグラフになります。令和7年上半期の合計が18,389.95トンで、令和6年より203.16トン、率で1.09%の減少になりました。下段のグラフは総ごみの搬入量の実績と前年同月比のグラフになります。令和7年上半期の合計が20,326.17トンで、令和6年より

308.74トン、率で1.50%の減少になりました。また、こちらにも、※印で災害ごみの量を記載しております。11ページからは資料となります。

以上で報告を終わります。

稲垣委員長：事務局の説明は終わりました。これについて、質問はございますでしょうか。

河村委員：資料5ページの排ガス濃度測定結果において、2号溶融炉の5月15日のところですが、ダイオキシン類の値が0ゼロとなっていますが、これは何か意味があるのですか。

熊崎業務課長：ダイオキシン類の0ゼロ表記につきましては、極めて小さい値の場合は、JISの規定により0ゼロ表記となります。実際の値で示しますと、0.000と小数点以下の0ゼロが9桁並ぶこととなります。

河村委員：そういうことであれば、検出限界のところ以下と表示されたほうが良い。0ゼロは、どれだけ分析しても値が無いということになりますのでちょっとまずいのでは。

熊崎業務課長：検討します。ありがとうございます。

稲垣委員長：そのほかよろしいでしょうか。なければ、議題1については終了します。

続きまして、議題2「令和7年冬季、春季気象調査について」及び議題3「調整池からの排水調査について」を一括議題といたします。事務局の説明をお願いいたします。

服部業務課長補佐：それでは、資料2、気象調査、通年観測報告書と特別観測報告書をご覧ください。1ページ、第1章、調査概要の1-1目的、1-2調査地点につきましては変更ありません。1-3調査期間、通年冬季調査期間は令和6年12月1日から令和7年2月28日まで、通年春季調査期間は令和7年3月1日から令和7年5月31日まで、特別観測、春季調査期間は令和7年5月15日から令和7年5月21日までの7日間です。1-4調査機関、1-5調査項目及び測定方法につきましては変更ありません。2ページは調査地点図になります。続きまして、3ページをご覧ください。

ださい。第2章、調査結果を報告させていただきます。風向・風速、通年観測調査は冬季について説明させていただきます。出現の多い風向と頻度では、西北西からの風15.5%、西からの風15.0%、北西からの風12.6%、環境センターが位置する北からの風の頻度は6.3%でした。平均風速は、毎秒2.0mで、最大風速は1月29日14時に西からの風、毎秒7.8mを観測しました。春季年間の調査結果につきましては表中に記載の通りです。続きまして、風向・風速特別観測調査について報告させていただきます。期間中の気温、湿度については、環境センター地点で平均気温21.7℃、平均湿度は74%でした。風向・風速につきましては、野口地点で説明させていただきます。出現の多い風向と頻度では、東からの風及び南東からの風が共に8.9%でした。環境センター方向からの風の頻度は、北からの風3.0%を観測し、平均風速は毎秒1.3mで、最大風速につきましては、5月21日の16時に南東からの風が毎秒4.5mを観測しました。ほか林地点、大山地点、環境センター地点の測定結果につきましては表中に記載の通りです。続きまして、4ページをご覧ください。環境濃度、通年観測・特別観測につきましては、通年観測野口地点で説明させていただきます。二酸化硫黄の冬季の最高値は0.001ppm、春季年間の最高値は共に0.002ppm、二酸化窒素の冬季、年間の最高値は共に0.018ppm、春季の最高値は0.013ppm、浮遊粒子状物質の冬季の最高値は、0.021mg/m³、春季年間の最高値は共に0.067mg/m³、塩化水素の冬季の最高値は0.000ppm、春季年間の最高値は共に0.001ppm、特別観測につきましては表中に記載の通りです。5ページは、特別観測全日データ春季の調査地点での風向風速を表した図であり、6ページは、風向別出現頻度及び平均風速、特別観測全日データ春季の表になります。

続きまして、資料3、調整池からの排水調査報告書をご覧ください。1ページ、第1章、調査概要の1-1目的、1-2調査地点につきましては変更ありません。1-3調査日は令和7年5月16日になります。1-4調査項目及び調査方法につきましては表1-1に示す通りであります。2ページは調査地点図になります。3ページをご覧ください。第2章、調査結果を報告させていただきます。水素イオン濃度はPH7.8、生物化学的酸素要求量は5.3mg/L、化学的酸素要求量は8.1mg/L、溶存酸素量は9.2mg/L、浮遊物質量は1.0mg/L未満でありました。

以上で、議題2、議題3についての報告を終わらせていただきます。

稲垣委員長：事務局の説明は終わりました。これについて質問はありませんか。

稲垣委員長：よろしいですか。なければ、議題 2 及び議題 3 については、終了します。

続きまして、「その他」について、事務局からお願いします。

竹内事務局長：私より項目の 1 点目につきましてご報告をさせていただきます。ごみ破碎施設における火災事故の報告についてでございます。資料はございません。去る 7 月 10 日の午前中でしたが、当組合のごみ破碎施設におきまして、リチウムイオン電池の発火による火災が発生いたしました。これにつきまして初期消火等迅速に行った結果、設備の損傷等も最小限にとどめまして、翌日から通常運転を再開できました。この類の火災は全国の他の自治体でもニュースでご存じかと思いますが、火災が発生しておりますことから、住民の皆さんには、ルールに沿ったごみ出しを引き続き、呼びかけてまいりたいと思っております。続きまして、ごみ溶融炉の運転業務の一部委託について資料 4、及びごみ処理応援協定に基づくごみの受け入れについて、順次、説明をさせていただきます。

服部業務課長補佐：それでは、資料 4 をご覧下さい。ごみ溶融炉の運転業務の一部委託について説明させていただきます。1、ごみ溶融炉の運転業務内容についてであります。ごみ溶融炉の運転操作につきましては、1 日 24 時間を 3 交代制にて、全 5 班体制で運用しております。その体制であります。令和 3 年度から 1 班を委託、令和 5 年度から 2 班目を委託し、その委託班には組合職員も 1 名常駐監視しながら運用を行い、これまでの間、問題なく経過してまいりました。令和 7 年度におきましても直営 3 班と委託 2 班の運用を継続しておりますが、今後の職員の定年退職に伴う職員数が減少する中で、安定的な施設運営を継続するため、令和 8 年度より 3 班目を委託する運用を計画します。2、令和 2 年度からの一部委託体制の経緯を表しております。3、令和 8 年度からの一部委託体制の範囲についての組織図になります。4、監視体制についてであります。ごみ溶融炉の運転操作の委託化に伴い、委託事業者の運転状況について把握する監視制度を導入し、令和 3 年度より委託班には 1 名の組合職員を配置し、休日、夜間を含む委託運転状況について監視をしています。今後においても、委託班には組合職員を配置し常駐することにより安全・安心な施設の運営に努めてまいりますのでよろしくお願いいたします。

服部業務課長補佐：次に、ごみ処理応援協定に基づくごみの受け入れについて

であります。こちら資料はございません。昨年度8月の管理委員会にてご報告させていただいてはおりますが、春日井市クリーンセンターの基幹的設備改良工事に伴うごみ処理応援について、令和7年11月から令和8年3月末までの5か月間において、可燃ごみの受け入れを計画しておりますことを改めてご報告させていただきます。

事務局からの報告は以上となります。

稲垣委員長：報告事項に対して、質問等はありませんか。

稲垣委員長：よろしいでしょうか。なければ、本日予定しておりました議事は全て終了します。これをもちまして、令和7年度小牧岩倉衛生組合環境センター管理委員会第1回定例会を閉会といたします。本日は、お疲れ様でした。ありがとうございました。

竹内事務局長：最後に、事務連絡を1点させていただきたいと思います。次回の管理委員会の開催時期でございますが、来年2月上旬を予定しております。開催日時が決定次第、委員の皆様にご連絡させていただく予定としておりますのでよろしくお願いいたします。

以上でございます。